

板橋区の資金管理及び運用状況

区では、『板橋区資金運用方針』に基づき、会計管理者が管理する資金について、元本の安全性を最重視するとともに、流動性の確保及び効率性の追求を図りながら管理・運用に取り組んでいます。

1 歳計現金等

歳計現金等とは、区の歳入・歳出に属する現金で、日々の支払いのために準備している現金（歳計現金）と、区の歳入・歳出に属さない現金で法令等に基づき区の責任において一時的に受払いをする現金（歳計外現金）を合わせたものです。

<管理・運用方法>

歳計現金等は、指定金融機関への預金での管理・運用を基本としています。残高推移の把握にあたっては、毎月資金収支の予定を作成することで、受払い状況に支障をきたさぬよう細心の注意を払っています。

<運用実績の概要>

- (1) 資金収支を精査し、定期預金にて運用しました。
- (2) 令和7年度上半期は、前年同期と比較すると、歳計現金等の平均残高が増加しました。
前年度の上半期は、定額減税により一時的に残高が減少したことが要因と考えられます。

単位：千円			(参考)	
	令和6年度上半期	令和7年度上半期	令和5年度	令和6年度
平均残高	11,267,581	14,974,035	13,908,725	12,354,743
運用収入	886	12,586	161	8,287
平均利回り	0.016%	0.168%	0.001%	0.067%

*平均利回りは、当該年度上半期の運用収入の2倍を平均残高で割った数値で算出しています。

2 基金

地方公共団体が特定の目的のために、財産を維持し、資金を積立て、または定額の資金を運用するために設けた財産で、将来の特定事業への負担に備えるための資金です。

<管理・運用方法>

基金は、その運用目的及び積立・取崩計画を勘案したうえで、金融機関への預金や債券での管理・運用を基本としています。

<運用実績の概要>

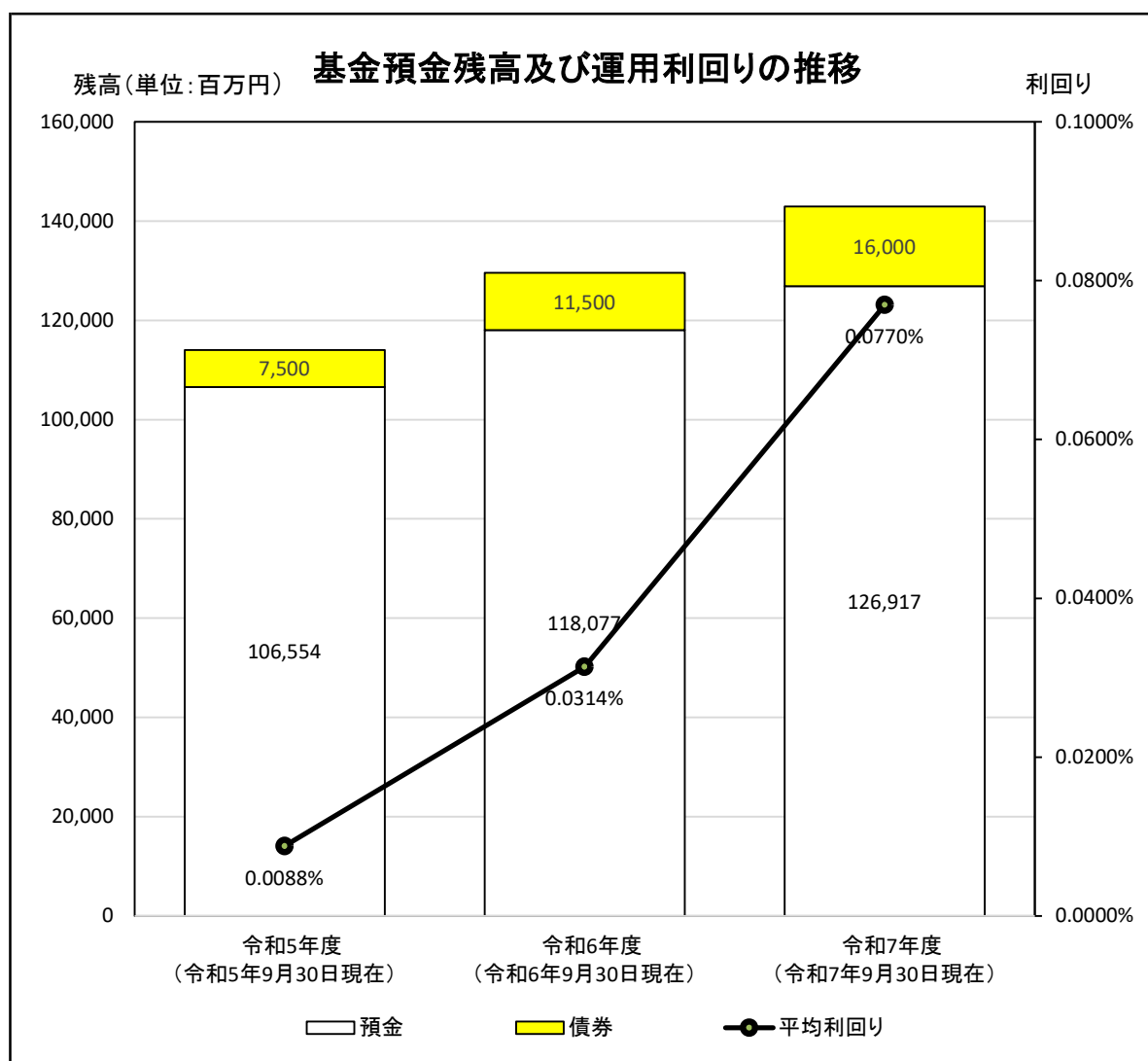
(1) 基金の運用状況

令和7年度上半期は、安全性を確保しつつ比較的利回りの高い定期預金等で主に運用を行いました。定期預金は超低金利の状況下においても利回りを確保できるよう、平成29年度から預入期間を最長1年間にして運用しているため、運用収入が下半期にまとめて計上されます。また、令和2年度から実施している債券での運用については、金利上昇に伴い効率的な運用ができており、基金全体の運用の平均利回りは順調に上昇しています。

単位：百万円

区 分	令和5年度上半期			令和6年度上半期			令和7年度上半期		
	R5.9.30 現在高	運用 収入	平 均 利回り	R6.9.30 現在高	運用 収入	平 均 利回り	R7.9.30 現在高	運用 収入	平 均 利回り
預 金	106,554	0	0.0088%	118,077	1	0.0314%	126,917	11	0.0770%
債 券	7,500	5		11,500	20		16,000	44	
計	114,054	5		129,577	20		142,917	55	
4年度末現在高:114,023			5年度末現在高:129,546			6年度末現在高:143,186			

*平均利回りは、当該年度上半期の運用収入の2倍を前年度末日の現在高で割った数値で算出しています。



(2) 金融機関種別の運用内訳

金融機関の選定にあたっては、引き合いを実施し、金利はもとより財務の健全性や地域性、区との関わり、格付機関の格付等を総合的に判断して決定しています。また、令和2年度より元本の安全性や収入の確保を図るために債券での運用を行っています。

単位：百万円

区 分	令和5年度上半期 (令和5年9月30日現在)		令和6年度上半期 (令和6年9月30日現在)		令和7年度上半期 (令和7年9月30日現在)	
	運 用 額	割 合	運 用 額	割 合	運 用 額	割 合
都市銀行	1,554	1.4%	8,077	6.2%	10,917	7.6%
地方銀行・信金等	105,000	92.1%	110,000	84.9%	116,000	81.2%
債 券	7,500	6.6%	11,500	8.9%	16,000	11.2%
計	114,054	100.0%	129,577	100.0%	142,917	100.0%

* 割合については、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

